

1. 山陰近畿自動車道の早期整備、峰山IC以西の早期事業化に取り組み、日本海側のミッシングリンクを解消すること。
2. 舞鶴国際埠頭の第2バース整備の促進とII期整備の推進、国道27号線西舞鶴道路及び臨港道路上安久線の早期促進をすること。
3. 由良川下流圏域河川整備計画に位置付けられる府管理河川、及び道路について、国の由良川整備と整合性をもった早期整備を進め、内水氾濫対策を図ること。
4. 由良川改修事業と一体となって支川となる大谷川・相長川・大砂利川・宮川の河川改修を促進すること。
5. 野田川支川の京都府管理河川改修事業を早期に推進すること。
6. 高野川・伊佐津川の早期の改修を推進し、総合的な治水対策等を実施すること。
7. 国道178号、312号、482号、426号、429号、網野岩滝線、主要地方道宮津養父線(岩屋峠)、久美浜湊宮浦明線(西回り)、市島和知線、小倉西舞鶴線白鳥トンネル区間四車線化の早期改良を促進すること。
8. 一般府道浜詰網野線、広野綾部線、小坂青垣線、私市大江線、綾部大江宮津線、上杉和知線の早期整備を促進すること。
9. 一般府道広野綾部線から主要地方道福知山綾部線に至る綾部環状道路の整備、特に野田踏切から先の未施工区間のトンネル工法等によるバイパス整備について、事業を推進すること。
10. 災害時に通行が寸断される国道178号(宮津市日置地区～井根町)の早期整備と複数の迂回路を整備し、府道の早期改良を講ずること。
11. 原子力災害時等の避難路として舞鶴若狭自動車道舞鶴東IC～舞鶴西IC間と京都縦貫自動車道園部IC以北の暫定2車線の4車線化、主要地方道小浜綾部線、綾部大江宮津線、舞鶴野原港高浜線及び一般府道田井中田線等の早期の拡幅及びバイパス道路の整備を促進すること。また、UPZ圏外の近隣市町村にも圏内に隣接する市町村と同様の支援を受け入れられるよう国へ要望すること。
12. 主要地方道福知山綾部線において長期の課題となっている未施工区間の整備促進をすること。

京都府北部



13. 度重なる水害時における道路冠水による集落の孤立化を防ぐため、国道及び府道の嵩上げについて早期の事業化を推進するとともに、う回路になる道路の狭隘箇所の拡幅、緊急時対応のためのヘリポートの整備等を検討すること。
14. 有害鳥獣対策の一層の充実強化、近年増加しているツキノワグマやシカ対策の推進と有害鳥獣焼却施設(福知山市大江町)の運営経費支援に取り組むこと。
15. 高齢化により地域の負担が増している既設有害鳥獣防護柵の補修・更新等の防護対策への支援を講ずること。
16. 農山漁村地域の生業が深刻な担い手不足が加速してきている一方で、Uターン移住者は、仕事がない状況であるため双方のマッチングが円滑になるような対策を講ずること。
17. 公共交通空白地有償運送の実施主体立ち上げ時の支援並びに運営の支援メニューを追加すること。
18. 電車、バス等の始発・終電時間などのダイヤ改正やパターンダイヤ、接続のとれたダイヤ等により使いやすい公共交通の実現に向けて尽力するとともに、公共交通の利用促進と利便性を高めるため、市町村及び事業者の取り組みの支援を行うこと。また「京都府北部地域連携都市圏公共交通計画」に基づき、圏域全体をストレスなく移動できる持続性の高い広域ネットワークを形成するため、市町村を超えた関係機関等の調整や支援に取り組むこと。
19. 新型コロナウイルス感染症の影響等によりさらに経営が厳しくなっている地域鉄道網の維持確保について、国に対してその必要性と重要性を強く働きかけること。
20. 日本海側国土軸の形成に資するため、山陰新幹線の「整備計画」への格上げ、京都府北部ルートの誘致に向けて国へ求めること。
21. 北部医療センターの老朽化対策と、現有地への建て替えのための調査費の計上等に取り組むこと。
22. DV被害対策として、北部にも避難施設の確保・充実を早急に図ること。
23. 京都府の管理海岸における海岸漂着物等の円滑な処理と体制確保に必要な予算措置等、さらなる支援を行うこと。

地域での重点要望

1. 京都市財政の改善について、府市協調を推進する観点から、知事と京都市長の懇談会をはじめ、様々な府市協議の場において、出来る支援策を講じるよう努めること。
2. 新規就農者に対する支援を充実し、作業場や住宅の確保等、定住促進につながる取り組みをはかること。
3. 山間部の農家民泊をはじめとした地域の活性化支援事業と京都府立大学をはじめ、大学との連携を強化すること。
4. 府市協調の事業について、京都市の各関係機関や教育機関等に対し広報をさらに積極的に行い市民への情報提供に尽力するよう要請すること。
5. 京都市内の府立高校におけるコミュニティスクールの導入を推進すること。
6. 市内府立高校の今後の在り方について、市立高校との連携、協議を深めると共に、魅力ある学校づくりに尽力すること。
7. 職員派遣や専門性を高める職員研修の充実等により、京都市との連携強化を図ること。
8. 北区、右京区、左京区の北部、とりわけ鞍馬地域以北の自然災害による復旧工事を迅速に実施するとともに、京都市との連携による倒木対策を推進し併せて、森林経営管理に対する必要な支援を行うこと。
9. 「鴨川河川整備計画」を積極的に進め、年々利用者が増えている遊歩道の整備に関し、街路灯の設置など夜間における安全性の向上にさらに取り組むとともに、九条高架橋以南の開通も住民から待望されていることから、早期に整備を完了させること。また、ランニングする多くの方から期待されている「アウトドアアクティビティ施設の整備」にある「ジョギングロード等の施設整備」も積極的に進めていくこと。
10. 観光客の利便性を高めると共に京都の魅力を発信するため、京焼、清水焼をはじめとしてなど京都らしい物産等を販売する施設を拡充すること。
11. 左京区から東山区にかけて流れる白川に必要以上に橋を架ける事例が後を絶たないことから、景観保全のため架橋の許可については地元と協議し丁寧に進めること。
12. 「防災・防犯情報メール」について、外国人居住者等に情報を正確に伝えるため、外国語対応を検討すること。また、発信対象地域を行政区ごとにし、より細かな範囲で対応できるシステムを構築すること。

京都市内部

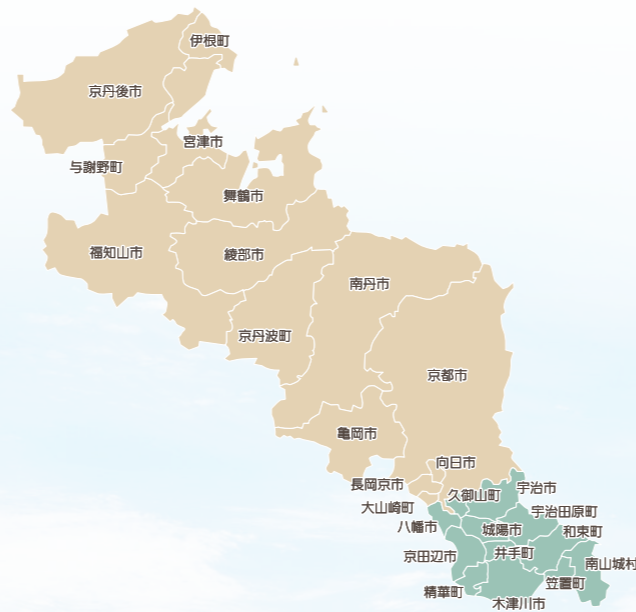


13. 府管理河川流域に生える自然木は、水の流れを阻害するなど水害被害を起こしかねないことから、リスク削減のために自然環境に配慮しつつ整備すること。
14. 木幡池の浸水被害を防止するための山科川の樋門拡張工事については、地元住民に工事の必要性をわかりやすく説明し、理解・納得を得ること。また、工事の安全対策に万全を期すとともに、通学路の安全対策も考慮し、府市(宇治市も含む)の協議の場を設けること。さらに、京都市と住民、国、府が山科川の防災対策について別途協議する場を設けること。
15. 安祥寺川における府市協調で計画した治水対策を早期に着工すること。
16. 四宮川、山科区四ノ宮神田町付近で浸水被害が発生しないよう治水対策を講じること。
17. 道路では、国道1号線逢坂山近辺や湖西道路、鉄道では東海道本線、湖西線、京阪京津線が災害等により通行止・運転見合わせが生じた際には国、滋賀県、鉄道会社と連携し、早期復旧とわかりやすい情報発信に努めること。
18. 山科川沿いに遊歩道、街路灯を整備し、夜でも安心してジョギングやウォーキングを楽しめる環境づくりを進めること。
19. 土砂災害等自然災害の発生箇所について、迅速な応救措置を講じると共に、より広い範囲での山の状況調査を行い、効果的な治水、治山対策を講じること。
20. 北山文化環境ゾーンの整備推進と機能強化及びエリアマネジメントを図ること。
21. 北山エリア整備基本計画に関し、植物園のバックヤードや府立大学のアリーナ整備などをはじめ、情報を随時広報し、京都府の計画についてより一層住民理解を促すように努めること。
22. ポストコロナを見据えて、京都市内から府全域に向けた人流構築のため、ワーケーション、マイクロツーリズム、観光、移住などを府市協調で実施すること。
23. 三大祭、三大奇祭をはじめ、京都市指定登録無形文化財の事業に対する支援を充実すること。

道路整備の促進

1. 木幡池浸水被害対策について、国、府、京都市、宇治市による4者連携で安全を確保するべく対策を強化すること。合わせて住民説明と対策の早期実施を行うこと
2. 八幡市内の国道1号線における歩道の整備等を国に対し働きかけること。
3. 城陽八幡連絡道路の新設を促進すること。
4. 防災上課題のある国道24号線のバイパスとなる城陽井手木津線川バイパス及び新名神高速道路のアクセス道路となる国道307号、主要地方宇治木屋線、都市計画道路宇治田原山手線について早期に整備促進を図ること。
5. 都市計画道路宇治淀線、新宇治淀線から府立宇治支援学校までの区間の整備を図ること。
6. 府道京都宇治線、二尾木幡線交差点はじめ未整備の交差点改良及び歩道整備、道路拡幅を図ること。
7. 府道八幡宇治線、歩道の延伸と拡幅を図ること。
8. 府道八幡田辺線の早期整備、及び市民の安全確保のための信号機の設置。
9. 第二京阪道路から国道1号線までの区間に関して全線4車線化を実現すること。
10. 国道1号線より西側の区間について早期に整備し、市道二階堂川口線バイパスと同時開通を実現すること。
11. 市道蜻蛉尻西線との交差点に信号機を設置し、子どもたちと市民の安全を確保すること。
12. 都市計画道路・内里高野線の大阪府部分が早期着工されるよう、大阪府に対し働きかけを行うこと。
13. 府道天理加茂木津線の加茂町大野地区「大野バイパス」拡幅整備を早期に完成させること。
14. 山手幹線の未開通区間(精華大通り以南)の開通に向け早期事業着手すること。
15. 府道枚方山城線の延伸(城陽井手木津川線バイパスへの結合)に着手すること。

京都府南部



16. 府道宇治淀線の慢性的な渋滞を早期に解消すること。
17. 府道大津南郷宇治線の土砂崩れ対策を早急に講じること。
18. 大住工業専用地域内の、都市計画道路(府道)松井大住線の拡幅4車線化を早期に図ること。
19. 都市基盤整備、産業振興、観光振興など宇治市のまちづくりと連携した道路整備を図ること。特に、新名神高速道路宇治田原IC～宇治市内ルートを市道から府道へと管轄を変更するとともに、道路拡幅、無電柱化などの道路整備を実施すること。また、道路標識の汚損、破損を直ちに修復すること及び、道路表示の修復に関する補助を行うこと。
20. 府道上粕城陽線の(仮称)南城陽バイパスを早期に整備すること。
21. 加茂地域と城山台地区を結ぶ骨格道路である府道324号木津加茂線(城山台～観音寺間)の拡幅等の整備を行うこと。
22. JR加茂駅東側から恭仁大橋までの未整備区間について、国道163号線の迂回道路としての機能も鑑み、計画的な整備を再開すること。

河川整備、災害対策の促進

23. 山科川、堂ノ川(木幡池)の治水対策を講じること。
24. 大谷川の水位が八幡市内の浸水に左右することから、木津川の上津屋樋門に排水溝の設置、大谷川に科手樋門を設置すること。
25. 防賀川改修及び田辺排水機場改修時にあわせて新西浜樋門の改修を行うこと。
26. 防賀川の浚渫も含めて改修を行うこと。
27. 一級河川小川の内水反乱を解消するための整備を行うこと。
28. 下記河川について浚渫や樹木伐採により流下能力の回復を要望する。
遠藤川: 木津川合流部から上流
防賀川: ①防賀川との合流部分から上流
②馬坂川との合流部浜新田橋と綴喜西部土地改良区東水門との間
29. 飯岡久保田樋門への強制排水機ポンプを設置すること。

地域での重点要望

- 30. 天津神川における府道八幡木津線水路橋部とその上流50M間の断面拡幅工事を早期に着手すること。
- 31. 山城地域の天井川について、護岸や堤体の損傷を防ぐための補強・補修対策を行うこと。
- 32. 一級河川糠塚川の改修を早期に完了させること。

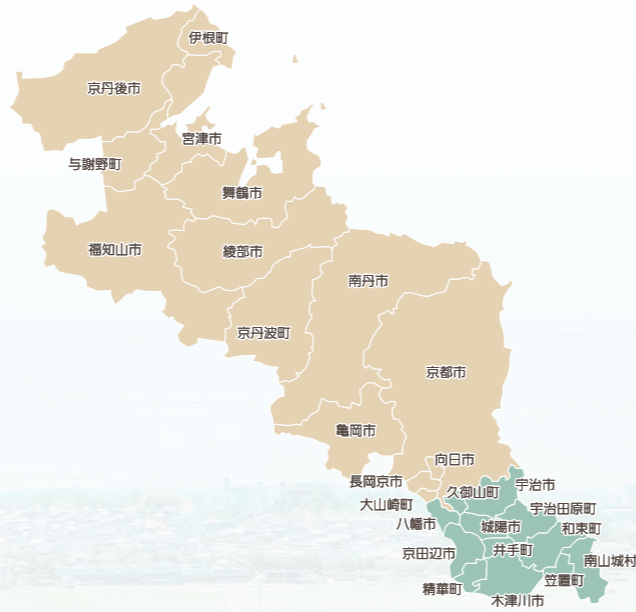
交通・都市整備

- 33. 田辺中央北開発では総合文化施設の建設を予定しているが、隣接の田辺総合庁舎を含んだ一帯開発が実現されるよう、府市連携で効果的な総合施設となるよう取り組むこと。
- 34. 新名神高速道路全線開通及び(仮)京都城陽プレミアムアウトレットのオープンに伴う治水対策、交通対策について、京都府・城陽市の連携強化を求める。
- 35. 木津川運動公園北区域について、城陽市及び城陽商工会議所の意向を踏まえ、計画の早期策定を行うこと。
- 36. 木津川流域下水道の利用増加が見込まれることから、洛南浄化センターの処理能力向上にむけ早期の整備拡充を行うこと
- 37. 広域交通ネットワークの形成及び広域交流拠点づくりの実現に向けた支援について

東部丘陵地周辺道路ネットワークの形成に向けた整備促進及び木津川両岸を繋ぐ連絡橋梁の建設並びに鉄道網の整備としてJR学研都市線の京田辺駅とJR奈良線の長池駅を結ぶ片奈連絡線の重要施策としての位置付けと共に取り組みを主導すること。又、これらの整備効果を活かした府立木津川運動公園北側区域整備などの交流拠点づくりや、(仮称)京都城陽プレミアム・アウトレット計画の実現及び最先端のICTを活用した次世代型物流拠点の誘致に向けた継続的支援、更に、上下水道を含めた広大な中間エリアの土地活用に向けた支援をすること。

- 38. 東部丘陵地中間エリアに上下水道施設等の整備が必要となることから、上水道に関しては、府営水道第2分水施設の整備をすること。汚水処理に関しては、当該エリアが下水道処理区域外となっているため、まずは流域下水道の計画区域への追加に向けて調整すること。又、接続可能となっ場合、大規模な管路整備が必要となる事から、国庫補助金等の確保、将来を見据えた広域的な観点からの技術的助言等の支援を行うこと。

京都府南部



- 39. 山城青谷駅周辺の再開発・整備とともに、住民の利便性の向上と交通安全対策を進めること
- 40. 府内の通学路の安全対策を進めるため、道幅の拡幅など危険箇所へ対応すること。
 - ①府道69号線の久津川交差点から近鉄久津川駅の間。
 - ②府道富野荘八幡線(西富野付近)の狭隘箇所。
- 41. 山城総合運動公園について、日よけ対策等熱中症対策を講じると共に、野外ステージについて早期に改修を行うこと。

観光・文化・産業振興

- 42. 京都府南部の市町村の産業戦略の推進に向け、産業支援機関と連携した取組や施策への人的・財政的支援の更なる支援と工業用地の確保や企業誘致に向けての特段の支援を行うこと。
- 43. 宇治川の自然を保全・活用した観光振興の推進及び天ヶ瀬ダムを中心とした宇治川周辺における新たな観光資源の発掘や活用など、地域オンリーワンの観光コンテンツを創出するため、特段の支援を行うこと。
- 44. 相楽東部未来づくりセンターの取り組みをさらに充実させ、それぞれの町・村の課題に積極的に取り組むこと。
- 45. 有害鳥獣対策として、「山城地域二ホンザル被害対策広域協議会」を中心に、地元住民、地元捕獲隊とも連携して二ホンザル被害対策に取り組むこと。発信機等機材の定期的な更新と関係者による共有を行うこと。

子ども・子育て・教育

- 46. 京都府子ども発達支援センター「すてっぷ」には療育支援の為、京都府南部全域から来られ、予約待ちの状態が発生している。発達支援の充実のために人員増強を行うこと。
- 47. 木津川市立城山台小学校の児童急増・大規模化に対し、児童の安全安心と学び・教育環境の確保のため、養護教諭及び事務職員の3人体制と、児童支援加配、不登校加配、連携推進加配、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー等、加配配置した教職員体制を確保すること。



道路整備の促進

1. 京都府道79号伏見柳谷高槻線の鈴谷地区より楊谷寺へ至る狭隘な道路の拡幅に取り組むこと。特に観光シーズンにおいて、車両の離合に困難をきたし渋滞が発生すると共に、ハイカーと車両の接触・車両の沢への転落等安全面でも問題があるので早期に対応すること。

交通・都市整備

2. 阪急長岡天神駅の連続立体交差化の早期実現に向けて引き続き取り組むこと。
3. 向日台団地の建て替えを推進すること。その際、高齢の居住者への配慮並びに工事期間中における周辺の交通環境安全確保へ充分に取り組むこと。
4. JR向日町駅東口の開設に向けて技術的・財政的支援を適宜行うこと。また、京都市域からの道路接続のために、京都市と向日市の調整に取り組むこと。

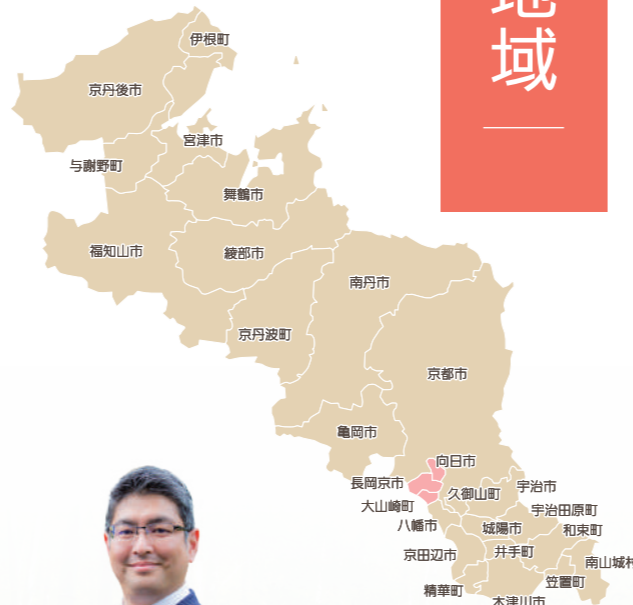
観光・文化・産業振興

5. コロナ禍での分散観光のため竹の里・乙訓の観光誘致を強化し、京都市内の観光客を乙訓地域への誘導に取り組むこと。
6. 老朽化が進んでいる府立長岡京記念文化会館の改修に取り組むこと。特に雨漏りへの対策・音響機器の入れ替え・緞帳の昇降を始めとした舞台機構については早急に対応すること。

子ども・子育て・教育

7. 向日が丘支援学校の建て替えを着実に推進すること。並びに周辺の福祉エリア化実現に向けて地元・近隣自治体とも連携を取りながら推進すること。

乙訓地域



あなたとつくる新しい京都・新しい政治